

スタートアップ創出型萌芽的研究開発支援事業

2026年2月17日

総務省 国際戦略局 技術政策課スタートアップ支援室

スタートアップ創出型萌芽的研究開発支援事業

- ✓ 起業又は事業拡大を目指すICT分野のスタートアップ等に対する研究開発費支援や、事業化に向けた伴走支援を通じて、スタートアップの創出・育成を促進する。
- ✓ 令和8年度事業においては、オープンイノベーションの実施等を通じて今後大きな成長が期待されるスタートアップ等を対象に、重点的な研究開発費支援(フェーズ1:最大500万円、フェーズ2:最大3,000万円)及び事業化に向けた伴走支援を実施する新たな枠組みを創設し、スタートアップの成長を加速させる。

フェーズ 1 (PoC・F/S)	フェーズ 2 (実用化開発)	フェーズ 3 (事業化準備等)	出口市場 (公共調達等)
最大300万円 (最大500万円(※))	最大2,000万円 (最大3,000万円(※))	民間資金支援	自律的な 事業運営へ

芽出しの研究開発から事業化まで一気通貫での伴走支援

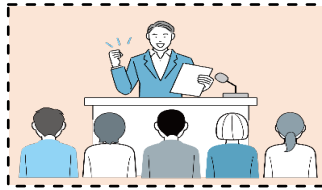
(※) オープンイノベーション等の実施時



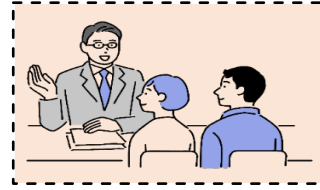
<社会実装サポート>



<知財活用サポート>



<イベント参加サポート>



<事務処理サポート>



<協業に関するサポート>

<事業概要>

対象: スタートアップ等
 事業スキーム: 研究開発(補助)、調査研究(請負)
 対象経費: 人件費、機器購入費等の研究開発に係る経費
 補助率: 10/10
 計画年度: 令和5年度～令和9年度

令和7年度補正予算額 550百万円、令和8年度予算額(案) 270百万円
 (令和6年度補正予算額 300百万円、令和7年度予算額 300百万円)

- ✓ スタートアップ創出型萌芽的研究開発支援事業における、宇宙系スタートアップの支援事例は以下のとおり。
- ✓ 特に、R5～R7にて継続支援している株式会社岩谷技研は、採択後に高額の資金調達を達成。

R5・R6・R7

宇宙遊覧フライト事業における 有人気球—地上間の通信技術検証 【株式会社岩谷技研】



気球による有人飛行で国内初の
高度20,816m到達

【事業目的】

世界初の気球による宇宙遊覧サービスの提供開始を目指す。

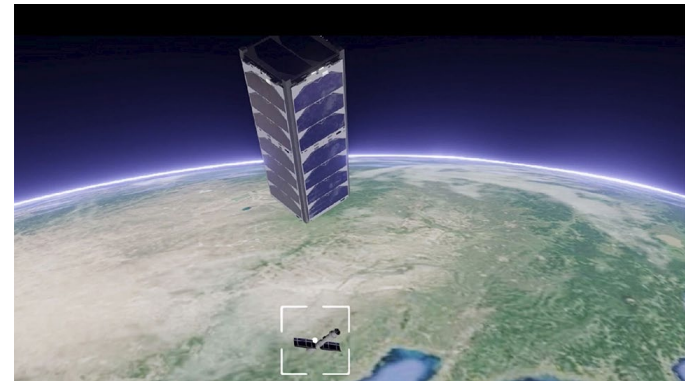
【開発支援の成果】

有人気球—地上間の通信技術システムを開発し、R5年度は気球—地上間の通信システムの構築及びテレメトリ機能を実装。R6年度はテレコントロールシステムの実装及びシステムのスタンダアロン化を行った。

採択後、10億円近くの調達を達成。

R7

「人工衛星を撮影する人工衛星」のための システム開発 【株式会社尽星】



「人工衛星を撮影する人工衛星」初号機を開発中

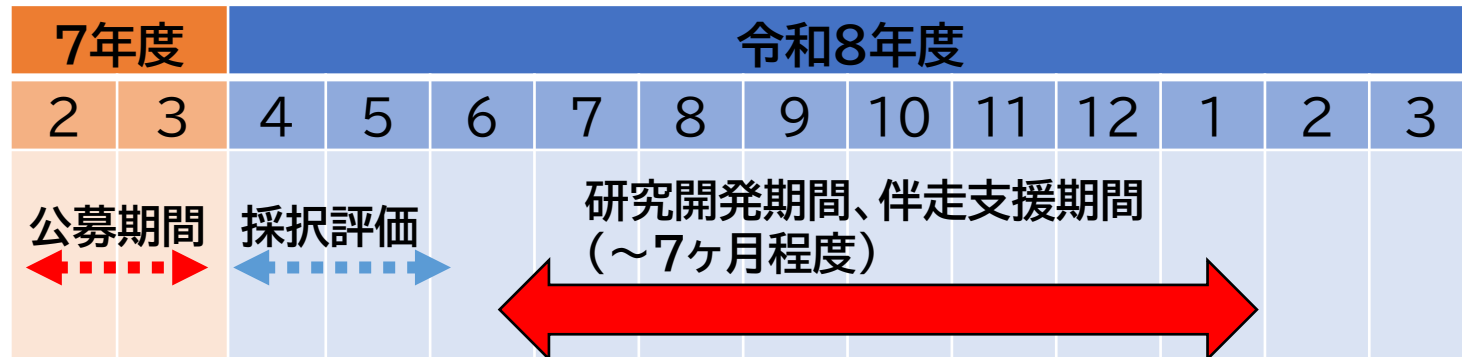
【事業目的】

宇宙空間で運用中の人工衛星の外観を撮影し、異常点検を行うサービスの提供を目指す。

【開発支援中の事業】

新規開発要素の実現性を確認するためのモデル(BBM: Bread Board Model)を構築し、地上局-人工衛星間の双方向通信機能及びターゲット画像認識機能を開発中。

令和8年度スケジュール(予定)



※研究開発期間に係るスケジュールは予定です。

<令和8年度の公募について>

2/3(火)より令和8年度の公募を開始しました！

公募期間:2/3(火)14:00~3/24(火)18:00

公募詳細については、以下のHPに掲載しています。

(今年度の伴走支援の取組についても掲載中です。)

ICTスタートアップリーグ

検索

<https://ict.startupleague.go.jp/>

ICT
STARTUP
LEAGUE

